

# 山口県生協連 ニュース vol.223

発行：山口県生活協同組合連合会  
〒753-0083 山口市中後河原 210  
TEL: 083-923-5614 FAX: 083-928-5416  
E-mail: yken.ccu@smile.ocn.ne.jp  
<http://yamaguchi-kenren-coop.jp/>



2017年3月21日発行

## 山口県生協連主催

## 県連会員生協 役職員研修会を開催しました

2017年1月26日(木) 13:00~14:30 労福協会館にて  
会員生協役職員研修会を開催しました。

「ユニセフが支援する子どもたちの実情と私たちができる国際協力」  
と題して、近畿大学 社会連携推進センター教授 安田直史先生に  
ご講演いただきました。

参加者は会員生協役職員、山口県、一般企業、NPO 法人からの105名。

安田先生は、大阪で外科医として働いてこられました。2005年から  
2016年までユニセフの国連職員としてアジア・アフリカの多くの国で支援  
に従事されました。

山口県生協連は県ユニセフ協会設立に向けて、呼びかけ団体となって  
学習会を開催してきましたが、今回はその貴重なご経験を通して、さらに深く  
ユニセフの活動をお話していただきました。



安田先生



講演では、ユニセフが活動していく上で肝に銘じていることとして

①人道援助の原則②子どもの権利条約に基づいた人権の尊重③結果に基づいたプロセス、を  
挙げられました。

その中で、貧しい環境下の子どもの写真を見て、かわいそうだから何とかしてあげたいと感じる  
かもしれないけれど、誰もが生きる、育つ、などの権利を持つ者であり、それに対してその権利を  
全うする義務を負う者(政府や国際社会)がいることを説かれました。

自分の権利を知り、主張し、意識を高めることの大切さと、権利が守られていない場合には  
ユニセフや国際社会が支援をしているという基本的な考え方を話されました。

医薬品、水と衛生、子ども達の遊びと教育の場などの緊急援助について、先生の現場での  
経験を通して話していただきました。

子どもの命を守ることに、新生児の死亡率を減らし5才までの生存率を増やすと同時に、  
平均だけを見てはいけない、国内格差を減らし5才以上生きている子どもたちもちゃんと育てていく  
ことが大切だそうです。

またアルビノの子ども達が間違った宗教的な呪術のために襲われていることも多く、人権問題解決  
の必要性を言われました。

日本にいてもできる国際協力としては、募金以外に里親制度、奨学金、投資、研究、技術開発、政策などいろいろあること、ユニセフの活動には、募金活動、広報活動、政策提言がありますが、日本人への啓発活動、特に子どもの状況や権利を知ってもらうことが大切で、日本の子どもたちに知ってほしいこと、世界は先進国だけではないことを踏まえて、それぞれ何をもって国際協力ができるのか考えて欲しいと述べられました。

先生ご自身も世界の状況を知ってもらうことを手伝っていかれたいとのことでした。

### 参加者の感想。



「権利保有者、義務を負う者の関係はその通りだと納得できた。募金以外での国際協力についても考えていきたいと思った。」

「日本にしながらできる国際協力について新たな発見になったので意識を自国のみならずひろげて生活していきたいと思います」

「息子には世界が広く様々な状況にある人たちがいることを伝えたいと思いました。」

## 山口県生協連主催

### 「第6回監事・監事スタッフ研修会」を開催しました

この研修会は今年度で6回目となります。昨年度は、実践編として「年間時系列による監事監査ポイント」について学び、参加者アンケートでは参加者全員が満足された内容でした。今年度は、監事の職務について再確認するとともに、年度末も控え「会計監査・期末監査と監査報告書作成のポイント」について学ぶこととしました。



日生協 岡坂氏

日時 2017年2月17日 13時～16時

会場 コミュニティーセンター「はあもにい～♪」

テーマ 「会計監査・期末監査と監査報告書作成のポイント」

講師 日本生協連 総合運営本部 法規会計支援部 岡坂 充容 氏  
法規会計支援部長 宮部 好広 氏

#### 《研修会のねらい》

- ①会計監査は、理事の報告義務（決算関係書類の適法性・適正性）の履行状況の監査と捉えることができますが、会計監査の捉え方、監査のポイントについて学ぶ。
- ②主要な監査の方法の考え方を学ぶとともに、具体的な実践展開について事例紹介等を通じてヒントを得られるようにする。

## プログラム

時 間	内 容
13:00～13:10	開会あいさつ/講師紹介
13:10～15:25 (15分間休憩)	I.はじめに II.会計監査・期末監査と監査報告書作成のポイント（解説） 1. 会計監査の目的 2. 会計監査の基本的な考え方 3. 会計監査を行うために把握しておくべき事項 4. 期初の会計監査のポイント 5. 期中の会計監査のポイント 6. 期末監査、監査報告書作成のポイント
15:25～15:55	III. 質問・交流 ◇全般を通しての質問◇会員生協の実践交流
15:55～16:00	閉会のあいさつ

参加者は会員4生協の役職員9名。

初めに、岡坂氏より、(1)判例から見る監事(監査役)の法的責任として、釧路市民生協の組合債をめぐる損害賠償請求訴訟(法的責任を問われた事例)、ニイウスコー損害賠償請求(法的責任を問われなかった事例)を説明され、ご自分の監事スタッフとしての経験も含め(2)監事の見える化の大切さについて説明された。(監事に対しての声、監査の職務の不理解など⇒一つ一つの活動を通じ、理解を深めることが大切)

参加者からは

「時機を得たテーマで、事例も多くよくわかりました。監査報告書の記載事項も参考になりました。」  
「見える化の話は納得のいく話でした。」など



## 第13回親睦ボウリング大会を開催しました

2016年11月6日(日曜日)13:30～16:00 「ボウリングの森」にて 山口県生協連主催  
第13回役職員親睦ボウリング大会を開催しました。

毎年恒例の大会で、会員生協間の交流と親睦を目的に開催しています。

会員生協の役職員とその家族60名が参加しました。

例年通り、3人で1チーム、19チームに分かれ、1人3ゲームずつ楽しみました。

あちらこちらで、“やったー!”とか“イエーイ!”という歓声や拍手がおこり、とても盛り上がっていました。



1ゲームにつき、女性は30点、小学生以下の子どもには50点のハンディーを付け、3ゲームの合計得点から、チーム別、個人別の順位を出し、閉会式で表彰をおこないました。

大人も子供も心と体をリフレッシュし、楽しい時間を過ごしながらスポーツの秋を満喫できたようです。

来年度もたくさんの参加をお待ちしています。

主な表彰は以下の通りです。☆☆☆表彰されたみなさんおめでとうございます。☆☆☆

団体	優勝	コープやまぐち A
	準優勝	全労済 B
	3位	チーム虹（医療生協健文会）
個人	ハイゲーム賞	中島毅さん（全労済） 山本京子さん（全労済）



## 第42回山口県消費者大会が開催されました

主催：山口県消費者団体連絡協議会

構成団体：山口県連合婦人会 新日本婦人の会山口県本部 山口県JA女性組織協議会  
山口県母親大会連絡会 生活協同組合コープやまぐち 山口県漁協女性部

開催日時：12月8日（木）10:00～14:00

後援：山口県・山口市・山口県生活協同組合連合会

開催場所：山口県総合保健会館 多目的ホール

今年度の山口県消費者大会は、

「暮らしをよくするために 学び、行動し、広げよう！」をテーマに、一年間の活動報告をし、また、地域コミュニティにおいて人と人とのつながりの大切さについて考え消費者としての知識を高め、学び合うことを確認しました。

参加者は一般の来場者もあわせて500名。

社会学者で立命館大学特別招聘教授・東京大学名誉教授  
認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長の  
上野千鶴子氏をお招きし、「在宅ひとり死のススメ」と題してご講演  
いただきました。



上野千鶴子先生

今後の予定

3/25,26 コープやまぐち第42回生協まつり

4/18 第6回県連理事会

5/17 第7回県連理事会

6/20 第68回通常総会

